

会議録

令和4年第1回

仙南地域広域行政事務組合
教育委員会定例会会議録

令和4年3月24日開議

令和4年第1回仙南地域広域行政事務組合教育委員会定例会会議録

1. 召集日時 令和4年3月24日(木) 午後2時
2. 召集場所 仙南芸術文化センター 会議室
3. 出席委員 教育長 船迫邦則、委員 阿部 誠、委員 半沢芳典、
委員 永井 哲、委員 鈴木仁一
4. 欠席委員 なし
5. 説明のため出席した者
教育次長兼視聴覚教材センター所長 加藤雅章、
仙南芸術文化センター館長 玉渕博之、
仙南芸術文化センター主幹兼総務係長 渡邊一弘、
教育係長兼文化振興係長 佐々木洋佑、
主査 山田純土、主事 若林あい子、主事 渡邊怜奈、主事 三ツ澤音々
6. 開 会 午後2時

7. 令和3年第4回教育委員会定例会会議録の承認について

船迫教育長	会議録について承認を求めます。
(質 疑)	<ありません>との声
船迫教育長	質疑ないものと認め、会議録を承認します。

8. 会議録署名委員の指名

船迫教育長	私のほか、永井 哲委員にお願いいたします。
永井 委員	はい。

9. 報 告

報告第1号 仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の就任について

仙南地域広域行政事務組合教育委員会委員の任命について、令和4年2月21日、当組合第256回議会定例会において、半沢芳典白石市教育委員会教育長を任命することに同意を得たことを資料1のとおりご報告申し上げます。なお、半沢委員の任期は令和4年4月1日から令和8年3月31日までである。

(挨拶)	
半沢委員	半沢でございます。どうぞ引き続きよろしくお願い申し上げます。一番気にかけていたのは、AZ9の公演が年度内に行われるといいなど。私は残念ながら予定が入っていて鑑賞できないんですけども、年度内にやれる見通しだと聞いておりますので、ぜひ思い出の多いものになってほしいなと思っております。今後も教育長さんとともに、そして他の委員さんとともにこの仙南圏域の教育の発展のために微力ではありますが、力を尽くしていきたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い申し上げます。

報告第2号 主な事業等の経過について

別紙(資料2)にて、教育委員会事業については佐々木係長、仙南芸術文化センター事業については渡邊主事よりご報告申し上げます(報告後、事業の様子をまとめた映像をご覧いただいた)。

(質 疑)	
阿 部 委 員	A Z 9 ジュニア・アクターズの練習場所の中に仙南クリーンセンターと書いてあるんですが、公に借りられるんでしょうか。
加藤教育次長	ごみ処理施設ということで、当組合の衛生処理施設になっております。業務課所管の施設ではあるんですけども、地域の方がご利用いただけるような形で大きな会議室等も備えておりまして、そちらが利用可能ということで、今回 26 日に公演がございまして、会場の都合上で明日については残念ながら、えずこホールを使うことができないところもございまして、明日は本番直前ですけども仙南クリーンセンターを使った練習も予定している状況でございます。

報告第 3 号 令和 3 年度仙南ふるさと C-M グランプリ（第 4 4 回仙南地域自作視聴覚教材発表会）の結果について

資料 3 にて、佐々木係長よりご報告申し上げます。

(質 疑)	
阿 部 委 員	私はムービー部門の二番目まで見させてもらったんですけども、紙しばいにしろ、ムービーにしろ、プロ並みで素晴らしいなというふうに思いました。『さつきばれ 小野訓導物語』については、私は福岡中学校に勤めたことがあるんですが、その時に小野さつきさんが福岡の長袋出身ということが分かったんですが、紙しばいを作った方は柴田町の方なんですけども、音響も手作りで本当に感動しました。また、『あぶきゅうのきせき』も角田で今は普通になっているんですけども一生懸命やっているなという感じがしました。 ムービー部門の『奥州街道金ヶ瀬宿』は歴史ですね。私も金ヶ瀬中学校勤めだったんですが、その時は伊達領と片倉領で玄関の向きが違うところまでは分かったんですが、新幹線の下の辺りが本当は金ヶ瀬村で、流されて今のところに金ヶ瀬村が来たということを初めて知って勉強になりました。『小室達と高橋英吉』は伊達政宗の騎馬像なんですよ。今地震で問題になっていますが、非常に素晴らしい方が地元におられるなと感激しました。作った方々はプロ並みに上手にやってくれているなというのが印象に残りました。

報告第 4 号 A Z 9 ジュニア・アクターズ第 2 9 回公演特別上演について

資料 4 にて、若林主事よりご報告申し上げます。

(質 疑)	
鈴 木 委 員	見込みとしてどのくらいの人数の来場があるんでしょうか。
加藤教育次長	なにぶんこの公演については、ただいまご説明申し上げたように、一度延期をして、なおかつチケットをご購入いただいたの公演という形は中止にさせていただいたという経緯もございまして、この期間、元々の日程あるいは延期日程に合わせて調整していただいたものがさらに変更になったということもあって、元々予定していたよりは相当来場者数が減ってしまうのは致し方ないのかなと思っております。えずこホールでは制限はかかってはいないんですけども、感染拡大防止に協力する必要もあるということで、引き続き客席数をおおよそ半数以下にするということで来場者数をコントロールしておりまして、それに基づいてご案内をすることで、今のところ、200～250 人くらいの方においでいただけるのかな

	と見込んでおります。元々こういった形で延長が続いている状況ではございましたので、どのくらいお客さんが見込めるか正直難しいところではありますが、ぜひご覧いただける方、それから公演を観る形で応援いただける方がいらっしゃいましたら、お声がけをいただいて足を運んでいただければと考えております。
船迫教育長	子どもたちの仕上がりぶりなんかはいかがなんでしょうか。
加藤教育次長	頑張っておりますとしか申し上げられないんですが、正直、緊急特別要請期間中オンラインの稽古ということで継続してはきているんですけども、やはり元々の演劇の性質が互いに向き合って、演じ手が相互の関係の緊張感の中で生み出されてくるものがあるわけですけども、オンラインではそこが成立しない部分が大いいものですから。21日に緊急特別要請が解除になりまして、そこから先、短期集中で仕上げるということで頑張っております。
船迫教育長	公演の際は、手が痛くなるほど拍手をしたいと思っております。

報告第5号 令和4年度仙南地域広域行政事務組合教育費一般会計当初予算について

別紙(資料5)にて、三ツ澤主事よりご報告申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

報告第6号 令和4年度仙南地域広域行政事務組合仙南芸術文化センター特別会計当初予算について

別紙(資料6)にて、渡邊主幹よりご報告申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
---------	--------

議案第1号 仙南地域広域行政事務組合視聴覚教材センター教材貸出規則の一部を改正する規則について

別紙(資料7)にて、山田主査よりご説明申し上げます。

(質 疑)	
永井委員	第二条の第三項 定期的な点検とあるんですが、定期的というところのどのくらいのスパンを想定しているんですか。 点検というのは所有者が自分で点検していればいいと捉えてよろしいですか。
山田主査	基本的には大きな狂いもなく動いていれば大丈夫という形で考えておりました。
加藤教育次長	実は以前16ミリ教材に関しては、機材点検と称しまして、16ミリを使う可能性がある市町の機材については、教材センターにお持ちいただいて点検を受けていただくというような手続きをとっておりました。ただ、実際には学校等も含めて、16ミリの利用もなく、ただ持っているだけでも、使う可能性がある場合は点検をしてください、使っていないくてもああいった機材は劣化するものですから、ローラーの交換が必要で費用の負担が発生していたりしたわけです。この辺やはり現実的ではないということもありまして、以前から検討していたところでは、機材等も問題なく動くところも多いということで、いわゆる日常点検をして動作に問題のない場合であればご利用いただいてもいいと考えております。 なにぶん昔16ミリ教材を高いもので70万、80万と出して買っていたころの名残ということもございますけれども、ある程度問題なく動いているものに関しては日常点検の範囲で問題なければということでご解釈いただければと思います。

半 沢 委 員	私は基本的に現実に合わせて改正するのは問題ないだろうと。ただひとつ、考えておかなければならないのは、当組合としての今まで購入したものが財産であるということには間違いないけども、今後どうしていくのか。具体的な数字は分からないけれど、なかなか使われなくなっているということでやっぱりフィルムというのは基本的に永久品ではないので、どういう風にそれを次の世代に伝えていくのか。デジタルアーカイブ化、これは著作権の関係もあって簡単にはいかないと思うけれど、今後どういう風にしていくのかということについては今後検討していかなければならない。極端な言い方をすると、ニーズがあつての教材センターだと思うんですね。どんどん世の中が変わっていつているわけなので今後どういう風に保管するなり場合によっては処分するなりということを考えていかなければならないのかなど。中期的な課題なんだろうという風に思います。改正については現実的だと思います。講習を受けるっていうのも妥当なんではないでしょうか。
船迫教育長	他の情報がなにかありましたら。例えば他の団体ではこうしてるとか。
加藤教育次長	実は16ミリの利用は高齢者の福祉施設での需要は一定数あるような状況でございます。そういったところは先ほど申し上げましたように、16ミリの機材等もまだお持ちで、健全に動作しているものがあるということで、私共としてもやはり今年の報告等見ていただいても分かる通り、機材の貸し出しだけやっている時代ではなく、教材センターとして地域のニーズにどう応えていくかという中で事業の見直し等も経て取り組みをしているところでございます。ですので、16ミリに関しましては、かねてから管理してきている圏域の重要な財産の一つであることは間違いないんですけども、そこにどれだけエネルギーを注ぐのかということになってくるかと思しますので、基本的に問題なく視聴に供することができるものについては当面保管は続けると。ただ、それを主要な教材として取り扱っていくというよりは、補助的なものとして保管しつつ、徐々に別な方に注力をしていくような流れで考えておりますので、他の事例を見ると、16ミリの取り扱いはやめますと、一気に放出してしまったり処分してしまったりというような取り扱いをしているところもあるんですけども、当教材センターとしては若干なりとも需要がまだ残ってはおりますので、そういったところの需要にも応えるという意味で、当面の間保管を続けながらということで、ご理解をいただければと思います。
船迫教育長	その他質問、異議はございませんか。 <なしとの声>
	原案のとおり決定。

11. 協 議

(1) 次回教育委員会定例会の日程について

山田主査より、資料8にてご説明申し上げます。

(質 疑)	<質疑なし>
船迫教育長	令和4年5月26日(木)午前10時から、次回の定例会を開催いたします。

12. その他

(1) 福島県沖地震による仙南芸術文化センターの被害状況について

加藤教育次長、玉淵館長よりご説明申し上げます。

<p>(質 疑)</p>	
<p>半 沢 委 員</p>	<p>これはあくまでも私見で、白石市を代表して申し上げるわけではないですけども、今回の3月16日の地震で、必ずしもホワイトキューブ全体が傷んだわけではないんですよ。コンサートホールについては天井が落ち、パイプオルガンのパイプも折れ、座席の半分以上が動いて、落下物で使えるような状況ではなく、億単位でうちの財政から考えると相当厳しい支出を余儀なくされるような状況になっている。しかしながら、アリーナは今日もワクチン集団接種をやっていますが、被害はさほどではないんですね。市長とも話すんですが、あれがもし、日中のイベントをしている時にあの地震が来たら、果たして人命を守れたかどうか。だいたい人間というのは「喉元過ぎれば…」という言葉があるので、この機会に点検をして専門家にきちんと見てもらって。相対的な評価でどっちが強いという問題ではないんですよ。絶対に人命を守っていかなければならない。そこから考えると、当然ながら費用がどのくらいかかって、誰がどう負担するかという問題はあるわけですけども、見てもらうべきだと。やらないのは提供する場としては無責任だと。ぜひ、喉元を過ぎないうちに見てもらって、安全を担保できなければ供用はできないと。それは迷惑をかける方が仮に出てきたとしても最優先すべきは人命だという風に私は思います。なかなかこの自治体も、本市も含めて財政が厳しいので、簡単に出しましょうという風にはならないので、ある意味いい機会なんじゃないかと。今回の地震で、去年の地震で補修が終わったばかりの同じようなところが同じようにやられている。担当者も「先月直し終わったばかりなのに…」というようなね。スパッシュランドもそうで、お城もやってる最中で、さらに膨らむわけですね。当組合の教育委員会としてもやはり所管しているのであれば教育長さんにも頑張ってもらって、見てもらう必要があるんじゃないですかね。そして適切に処理していくということは絶対必要だと思います。</p>
<p>船 迫 教 育 長</p>	<p>吊り天井っていうのが気になりますね。</p>
<p>半 沢 委 員</p>	<p>キューブもそうなんですよ。</p>
<p>船 迫 教 育 長</p>	<p>そこをやはり我々聞いているので、吊り天井の今の状況を確認して、次に同じような揺れが来た時に耐えられるか、というような確証が欲しいですよ。</p>
<p>半 沢 委 員</p>	<p>揺れるときはどういう揺れになるか詳しくは分かりませんが、やはり吊っているものは、他の施設、キューブが代表的ですけども、かなりやられているんですよ。白石二小なんか度重なる地震でどんどん損傷部分が増えていって、本当に大丈夫なんだろうかと。専門家はあと一か月以内に同規模なのがあるんじゃないかと言っている。それを考えると僕は強く、見ていただくことをお願いしたいなと思いますね。</p>
<p>船 迫 教 育 長</p>	<p>まずは点検に向けてということで。</p>
<p>加 藤 教 育 次 長</p>	<p>半沢委員さんからも力強く、利用者の安全ためにも点検を進めるべきだご意見をいただきました。私どもといたしましても、ご意見のとおりだということで地震発生以来、何度かお話をしているところですが、行政の組織上の問題と言いますか、予算を要求してそれを通してもらって、という形にはなりますが、私どもの方で進められるものは進めてまいりたいと思います。</p>
<p>船 迫 教 育 長</p>	<p>どういうモーションを起こしたかということは大事になってくるので。やはり吊り天井への対応が必要だということを投げかけて、投げかけたことに対してど</p>

ういうリアクションがあったのかということ積み重ねて、記録しておく。

(2) 4月1日付けの人事異動について

加藤教育次長よりご説明申し上げる。その後、異動対象者の佐々木係長、退職者の渡邊主事挨拶。

(質 疑) < 質 疑 な し >

13. 閉 会 午後3時45分

上記の会議の顛末を記録し、その内容が真正であることを証するためにここに署名する。

令和4年3月24日

教 育 長

署名委員